

# 新しい活力の創造 ・イノベーション考・

経済は底を打ち、一部には回復の兆しもあるが、一般的にはもうひとつ新しい元気が湧いてこない。というのが日本の実態であろう。では、21世紀の日本の活力を如何にして生むか？そのためのレセピはあるのか？

レセピの一つはシュンペーターによって与えられている。ジョセフ・アロイス・シュンペーター（1883~1950）はその一生をかけて、社会は如何にして変革するのか？そのエネルギーの根源は何か？について追求し、それを"イノベーション"による、と結論した。では"イノベーション"とは何なのであろうか？不幸にしてイノベーションは日本において"技術革新"と訳された。もちろん、技術による社会の変革もまたイノベーションであることは間違いないが、シュンペーターの言うイノベーションはもっと広く深いものである。

日本の現状をもとに、あり得るべきイノベーションの姿について考えてみたい。

## 講師 水野 博之氏

（高知工科大学総合研究所所長）

**略 歴：** 昭和27年3月 京都大学理学部物理学科卒業  
昭和35年4月 理学博士 京都大学  
昭和27年3月 松下電器産業株式会社入社  
平成2年6月 松下電器産業株式会社副社長（技術担当）  
平成6年6月 松下電器産業株式会社退社  
平成6年8月 スタンフォード大学顧問教授  
平成13年4月 高知工科大学副学長  
平成15年4月 高知工科大学 総合研究所 所長（現在に至る）

この他現在：大阪大学基礎工学部非常勤講師、立命館大学経営学部客員教授、財団法人広島県産業科学技術研究所所長、学校法人大阪電気通信大学副理事長、コナミ株式会社取締役、株式会社メガチップス取締役

**受 賞：**平成1年4月 科学技術庁長官賞、平成8年6月 米国IEEE 名誉会員、映像情報メディア学会名誉会員、電気化学学会名誉会員、平成12年6月 龍谷賞受賞

**主要著書：** デジタル家電で日本が勝つ ~ 構想力の時代~ (東洋経済新報社) 大航海時代 ~ ニューフロンティアを求めて~ (株式会社コンピュータ・ニュース社) 構想力のための11章 ~ 新しい発想を生み出す方法~ (株式会社三五館) 今こそ松下幸之助に学ぶ ~ 混迷の時代の生き方~ (日刊工業新聞社) 森を出たサルはどこへ行くのか~ 人生の思索ノート~ (セルバ出版) その他多数